



原作 遠藤 周作

「わたしが・棄てた・女」より

監督・脚本 熊井 啓

Based on the novel by SHIBASAKU ENDO
Directed & Screenplay by KEI KUMAI

愛する

A NIKKATSU CORPORATION FILM

酒井美紀 渡部篤郎

MIKI SAKAI・ATSURO WATABE

宍戸 錠／岡田真澄 松原智恵子／三條美紀／上條恒彦 西田 健

JOE SHISHIDO・MASUMI OKADA・CHIEKO MATSUBARA・MIKI SANJOE・TSUNEHICO KAMIJOE・KEN NISHIDA

岸田今日子 小林桂樹

KYOKO KISHIDA・KEIJU KOBAYASHI

製作総指揮:中村雅哉 製作:山口友三

Executive Producer MASAYA NAKAMURA・Producer TOMOZO YAMAGUCHI

撮影:柄沢正夫 照明:島田忠昭 音楽:松村禎三 美術:木村威夫 録音:久保田幸雄 編集:井上 治 撮影所統括:豊 忠雄

Director of photography MASAO TOCHIZAWA・Lighting TADAAKI SHIMADA・Music TETSUO MATSUMURA・Art Director TAKEO KIMURA・Recording YUKIO KUBOTA・Editing OSAMU INOUE・Studio Manager TADAO YUTAKA



1997年／ビスタサイズ／カラー／114分 製作・配給 日活株式会社

Distributed by NIKKATSU CORPORATION

ハンセン病と誤診されても 尚、愛すること

生きる少女の青春物語

東京湾を望む臨海副都心。クリスマス・マスの日
に遊びに来た森田ミツ(酒井美紀)は、吉岡
努(渡部篤郎)という沖繩出身の青年と出会
う。吉岡はミツを車に乗せ、都心に出て食事
をし、映画を見た後、沖繩出身者の集う酒場
へと連れていった。ミツにとって驚きと喜び
に満ちた時間が瞬く間に過ぎ、その夜、二人
は当然のように結ばれる。

しかし、その喜びもつかの間、ミツはハン
セン病と診断され、北アルプス山麓の療養所、
信愛園へと隔離されてしまう。心細さと不安
を抱えるミツだったが、信愛園では、シスタ
ー山形(松原智恵子)や稲村看護婦長(三條
美紀)から温かく迎えられる。特に同室の元
ピアニスト・加納たえ子(岸田今日子)は、
ミツと同じ年の頃に入園したということ、
ミツとの交流を深める。

ミツのハンセン病は誤診と判明する。ミツ
は、外の世界へと戻ることが可能になった。
しかし、たえ子や、ここで80年間も生活して
いる上條老人(小林桂樹)とのふれあいによ
って、自身の存在と価値を見出し、園内にと
どまることを決意する。やがて彼女は、この
園にとって不可欠な存在となっていく。

吉岡はすぐにもミツを訪ねようと思いな
がら、ハンセン病の体験を持つ酒場のマスタ
ー(宍戸錠)の助言もあって、一通の年賀状
を送っただけにしてしまった。しかし、待ち望ん
だ返信がたえ子から届いたことで、吉岡は一
目散に信愛園のある北アルプス山麓へと向か
う。今こそ、愛のゆくえを確かめるために。
しかし……。

あなたの心にとどけます

『愛する』は、生まれて初めて、人間として
の生き方に目ざめた少女が、人を愛すること
で周囲の人たちにも多大な影響を与え、自分
自身もまた聖なる魂へと昇華する青春物語で

す。心身に傷を負った青年との出会い、初め
ての恋、初めての性、ハンセン病と診断され
たことでの絶望的な別れ。療養所で奉仕活動
を行う人々や、隔離されたことで純化した
人々との出会い。そこで彼女は自分自身の存
在を強く意識し、誤診とわかった後でも、そ
こにとどまり、愛し愛される存在となります。
ハンセン病は、遺伝性はなく、感染力も非
常に弱く、今日では通院治療で完治する病気
であるにもかかわらず、人々の差別と偏見は
厳然としてあります。1996年春に患者の
強制隔離などを規定した「らい予防法」が90
年ぶりに廃止された時、菅直人元厚生大臣が
謝罪したように、この法律は国と人間が犯し
た大きな過ちであり、現在も全国15ヶ所の療
養所で生活する人々は、それぞれ切実な問題
を抱えています。

熊井啓・遠藤周作コンビ 三部作完結篇

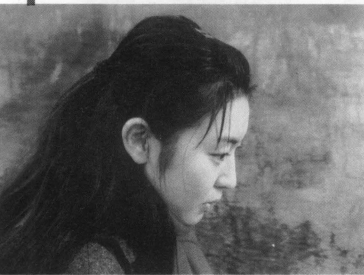
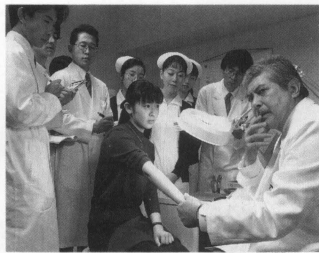
監督・脚本は『忍ぶ川』(72年)、『サンタカン
八番娼館・望郷』(74年)、『海と毒薬』(86年)で
三度のキネマ旬報ベストワンに輝き、『海と毒
薬』でベルリン国際映画祭審査員特別賞、『千
利休・本覺坊遺文』(89年)では、ヴェネツィア
国際映画祭サンマルコ銀獅子賞を受賞した、
日活出身の名匠・熊井啓、『海と毒薬』『深い河』
(95年)と共に遠藤周作原作三部作の完結篇で
あり、今は亡き遠藤周作への「鎮魂作」です。
原作は遠藤周作の「わたしが棄てた女」。
主人公のミツは原作者が最も好んだ、平凡で
愚かだが聖化された人間であり、「愛を具現
する女性」です。

このミツを演じる酒井美紀は『Love Let
ter』(95年)でデビュー、C X I T V「白線流
し」で人気を博し、今年はずでに『流れ板七
人』、『恋と花火と観覧車・誘拐』とたて続け
に出演し、今、最も期待されている女優の一
人です。彼女のビュアなイメージはまさに適
役です。

吉岡の渡部篤郎は『橋のない川』(92年)で
デビューし、『静かな生活』(95年)、『スワロウ

テイル』(96年)と活躍。現代の様々な要素を
具現しているかのようなそのキャラクター
は、時代によって心身ともに傷ついた吉岡と
はダブルイメージです。
この映画のテーマを体現しているともいえ
る岸田今日子、小林桂樹。また、かつての日
活黄金時代のスタア、宍戸錠、岡田真澄、松
原智恵子他の共演も見所です。
新生日活第一弾として日本映画を代表する
スタッフ、キャストが結集した『愛する』は、
みずみずしく、せつなく、アツブトウデイト
な青春映画として、待望の作品です。

愛する人は幸福なり



To Love 愛する

(1997年/ビスタサイズ/カラー/114分/日活配給)

<http://www.nikkatsu.com>

10月4日(土)よりロードショー!
前売券発売中 ¥1600(当日 ¥1800)

梅新・東映会館南隣り
シネマアルゴ梅田
06(343)1691

フェスティバル・ゲート7F
動物園前シネフェスタ
06(647)7188